HOP, STEP, JUMP in 標津

3
No.457／2005
広報しべつ

寒さを吹き飛ばした「キラリ標津2005冬まつり」

２月11日、サーモンパーク特設会場で開かれた「キラリ標津2005冬まつり」。会場では、雪中舟曳き競争(写真)やカキ氷早食い競争、雪中フットサル(ミニサッカー)、東京ディズニーランド招待などの豪華賞品が当たる大抽選会が行われ、会場は寒さを吹き飛ばすかのように大いに盛り上がりました。

また、雪像コンテストには、20基の力作が並び、審査の結果、ファミリーの部で「大石エリカとその従事者達」(代表・大垣隆さん)チームの「大石エリカエル」が、団体の部で「しべつとどわら太鼓保存会」(代表・千葉元さん)チームの「大漁打ち」がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

「わが村は美しく―北海道」運動コンクール

地域HACCP（ハサップ）推進委員会

サケ(雌)の腹部内温度を計測チェックする漁業者

エコ・ツーリズム交流推進協議会

修学旅行生を受け入れてのイクラ作り体験

〈地域特産物部門〉

金賞

〈人の交流部門〉

銀賞

北海道開発局が行っている「わが村は美しく―北海道」運動の第二回コンクールで、標津町地域HACCP（ハサップ）推進委員会が地域特産物部門で最高位となる金賞を、人の交流部門で同町エコ・ツーリズム交流推進協議会が銀賞を受賞。二月二十五日に、札幌市で表彰されました。

地域が一体となった取り組みを高く評価

このコンクールは、道内各地で地域の魅力を高めようとする住民の皆さんの努力と行動に光をあて支援し、そうした取り組みを全道のすみずみまで波及させていくことで、北海道の農山漁村の発展に寄与することを目的に行われています。

一昨年から始め、二年おきに実施され、今年が二回目のコンクール。百九十七件の応募の中から、「景観」「地域特産物」「人の交流」の三部門で審査が行われました。

「地域特産物部門」で見事金賞に輝いた地域HACCP（ハサップ）推進委員会の取り組みは、全国に例がなく、産業や地域全体の意識改革につながっており、地域の水産業はもとより観光などへの波及効果が非常に大きい点を評価。「人の交流部門」で銀賞のエコ・ツーリズム交流推進協議会の取り組みは、地域の自然や産業などを広く活用し、分宿による家庭的なもてなしや地元のシルバー世代など多くの町民が観光ガイド役として活躍するなど、修学旅行生との交流が評価されました。

これらの受賞は、地域住民の一体となった協働の取り組みが高く評価され、住民の皆さんの地道な努力の積み重ねが実を結んでいると言えます。

受賞にあたって…　代表者の声

「全国の消費者に標津産品をさらにPR」

標津の海からより安全・安心で美味しい食品を全国の消費者に提供しようと、全国に先駆けて平成十二年からスタートした「標津町地域HACCP」の取り組み。

漁業者を始めとする地域が一体となり、「知恵と行動力」を出し合って地道に実践してきたことが高く評価されたことは、関係者各位の努力のたまものであり、代表として誇りに思います。

これからも継続して取り組み、さらに全国の消費者に標津産品をPRしていきたい。

標津町地域HACCP推進委員会
佐賀淳悦 委員長

「〝人の交流〟でさらに町が元気に」

全道から多くの応募があった中、私たちの取り組みが銀賞を受賞したことは大変うれしく思います。これも漁協や農協、観光ガイドの方々や関係団体の協働による取り組みの成果ではないでしょうか。

標津町は豊かな資源に恵まれた日本の中でも有数の地域であるだけに、人と人とのふれあいによるこうした「交流」がさらに進むことで、町が元気になります。

今後も一人でも多くの皆さんのもと、地域が一体となった取り組みをしていきたい。

標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会
千葉　元 会長

〔関連の受賞〕

北海道青年農業者会議・農村づくり部門の研究発表
「エコ・ツーリズム」テーマに4Hクラブ優秀賞！

このたび札幌市で開かれた北海道青年農業者会議での農村づくり部門の研究発表で、町内の酪農後継者でつくる標津町4Hクラブ（福地智宏会長・会員十人）が優秀賞を受賞しました。

研究発表には、全道から三十八組が参加。本町の4Hクラブは、「牧場に行ってミルク～挑戦！標津町エコ・ツーリズム」をテーマに、昨年からクラブ会員が酪農家に呼び掛け、地域で進めている「エコ・ツーリズム」に本格的に取り組みを始めた活動ぶりをスライドで分かりやすく紹介。

会員が修学旅行生の受け入れ態勢作りに向けて奮闘したことや、その成果として「牛舎の周りをきれいに」「酪農の知識と技術をしっかり勉強し、ゆとりある経営を」などと、受け入れした酪農家に大きな変化があったことを主張しました。

福地会長は「『エコ・ツーリズム』の取り組みを通して、地元の人たちや町外の子供たちにも酪農を幅広く理解してもらえればと思います。今後も地域と一体となった取り組みをしていきたい」と話しています。

表彰状を手に喜びの福地会長(右)と代表して発表した渡部英徳さん

〝標津町「交流のまち」づくりフォーラム〟3月23日に開催します

皆さんの参加で町を元気に！

このたびの「わが村は美しく―北海道」運動第二回コンクールで本町の二団体が金賞と銀賞を受賞。さらに北海道遺産に「鮭の文化」が認証され、北海道全域の代表として本町が受賞しています。また、このほかにもこれらの事業と密接に関係するプロジェクトが、北海道規模の各種表彰を受けています。

こうした「キラリ」と光る元気な協働の活動を広く住民の皆さんに紹介し、町を挙げた一層の取り組みと住民の元気づくりを目的に次のとおりフォーラムを開催します。

●とき…三月二十三日(水)　午後一時～四時

●ところ…町生涯学習センター・あすばる

▷お問い合わせ先…事務局・役場商工観光課まで。

全国中学校スケート大会で菅原さん（川北中3年）女子千M 2位

二月七日、全国中学校体育大会・全国中学校スケート大会が青森県八戸市で行われ、本町から出場した菅原恵美さん（川北中三年）が女子千㍍で見事二位に入る活躍を見せました。

菅原さんのタイムは「一分二八秒一三」の自己ベスト。「レース本番前のアップでは、調子が今ひとつ。逆にこれがプレッシャーを取り除くことになり、集中できました」と菅原さん。また、千五百㍍にも出場し、五位に。総合でも七位に入賞。

「千㍍では入賞（八位以内）を狙っていましたが、二位に入るとは自分でもびっくり。表彰台に立てて本当にうれしかったです」と喜びをかみしめています。

標津中剣道部 全国大会へ

標津中剣道部が、三月二十六日から二十八日まで佐賀県神埼町で開かれる「第十六回全国中学生神埼町旗争奪選抜剣道大会」に初めて出場することが決まりました。

出場するのは、部員十四人のうち男子七人。同大会への出場は、実力ただけではなく伝統や礼儀、態度も選考対象に。

同部は、一月に青森県での鷹揚旗中学校選抜剣道大会で特別賞となる「鷹揚賞」を男女で受賞。同月の全道新人戦でも男子が三位入賞、「礼節賞」も受賞するなど、東日本レベルでの活躍と礼儀、態度が評価されました。

スキーで全国へ

小松くん（古多糠中3年）

一月十五、十六日に名寄市で開かれた北海道中学校スキー大会で、古多糠中三年の小松晋大くんが男子回転で十二位に入り、全国大会の出場権を手にしました。

小松くんは、小学一年の時からスキーを始め、町内の遠藤慎吉さん（古多糠・51歳）がコーチを務める「標津金山SRC（スキーレーシング）」に所属。シーズン中の休日のほとんどは、町営金山スキー場で、練習に励んできました。

秋田県鹿角市で開かれる全国大会に向け小松くんは、「今まで指導してくれた遠藤コーチのためにも、悔いのない滑りをしたい。目標は二十位以内を狙いたい」と意欲を燃やしています。

かまくら作りに挑戦！

標津ふるさと体験塾（武山栄道塾長）による「かまくら作り・ソリすべり体験」が二月十九日、金山スキー場で行われました。

親子連れなど六十八人がかまくら作りに挑戦。高さ約二㍍の雪山を、スコップを手に四苦八苦しながら掘り、約一時間半かけて完成。ソリすべりでは、子供たちから大きな歓声が。参加した工藤庸介くん（標津小二年）は「スコップで掘るのが楽しかった。お昼の豚汁もおいしかった」と満足そうに話していました。

Town News

路上ライブからプロデビュー
本町出身の藤本さん

神奈川県の川崎市や横浜市で路上ライブを続けてきた本町出身の藤本貴子さん(28歳)が二月十六日、アルバム(CD)を全国発売し、念願のプロデビューを果たしました。

藤本さんは、町内で建築業を営んでいる藤本謙二さん・量子さん(南四西二)の次女。標津高校卒業後、歌手を目指して東京の音楽専門学校に進学。歌唱を学び、アルバイトをする傍ら路上ライブを続け、その優れた歌唱力とギター演奏が、音楽会社の目にとまり、このたびのプロデビューにこぎつけました。

昨年からは、川崎市商店街連合会のバックアップもあり、「音楽のまち」を推進する川崎市の公認アーチストとして活躍。同市のイベントなどに多数出演しており、地域住民の高い支持を集めています。

藤本さんの歌手名は「フジモトタカコ」。発売したアルバムは、すべて藤本さんが作詞、作曲。路上ライブで人気の楽曲や新曲、全十曲を収録。本町では、イベントでこの曲を流すなど、藤本さんを応援していきます。

薫別小中学校が道教育実践表彰受賞

二月八日、薫別小中学校(木下弘之校長・児童生徒十九人)が北海道教育実践表彰を受賞しました。

この表彰は、学校教育の充実・振興に大きく貢献している学校などを表彰するもの。同校は地域の自然や人材を活かし、サケを題材にした「自然体験学習」を推進。故郷を愛する心を育み、学校と地域・家庭との連携を図った特色ある教育活動が認められました。

受賞にあたり木下校長は、「これも地域や関係者皆さんに支えられてきたお陰。今後もこの教育を継承していきます」と、生徒を代表して松崎優里香さん(二年)は、「これからも豊かな自然の中で勉強して、たくましく生きていく力をつけたい」と話しています。

「むし歯ゼロ」の子31人大集合!

平成十三年生まれの三～四歳の幼児を対象に、むし歯がゼロのお子さんを「歯っぴー☆KIDS」として認定する表彰式が二月四日、町保健福祉センター・ひまわりで行われました。

表彰されたのは、三十一人。全体の五〇・八%が「むし歯ゼロ」という結果になりました。

道警本部長から「讃辞」贈られる

昨年一年間の事故の減少を受けて、道警本部長からの讃辞が二月九日、池田勝彦町交通安全指導員協議会長の立ち会いのもと、嶋田茂春中標津警察署長から小田桐町長に伝達されました。

本町の昨年の交通事故による死者は一人で、対前年マイナス五人。町では、関係機関と連携し、一層の交通安全運動に取り組んでいきます。

vol. 34

ピ・ラ・ソ ひと

白井和美さん
（南5西4）

SHIRAI KAZUMI

「笛一つで試合の流れが変わります」

「ピーッ」―。笛の音が鳴り響く総合体育館。春の全国高等学校バレーボール根室管内予選会が開かれた一月十六日、熱戦が繰り広げられる中、試合の主審を務める白井さん（30歳・写真）。

白井さんは、バレーボールで全道・全国規模の大会の試合を運営できる、難関の日本バレーボール協会B級公認審判員の資格を今年一月に取得。"デビュー戦"となったこの日、決勝を含む二試合の主審を務めました。「B級公認審判員となって、初めての試合だったので、プレッシャーがありました。試合が無事に終了して、正直言ってホッとしました」。

さらに、この上の大会となる北北海道大会（二月五、六日、旭川市で開催）でも主審を務め、今後の活躍にバレーボール関係者から大きな期待が寄せられています。

白井さんは、四年前にC級審判員の資格を取得。以後、B級審判員を目指し、町内の多くの試合で審判を務め、合格に向けて日々努力を積み重ねてきました。B級審判員は、根室管内では九人目、女性では初めて。

白井さんは、中学、高校とバレー部で活躍。その後、標津町農協に就職。現在も町内の仲間でバレーを楽しんでいます。「とにかくバレーが大好きなんです。拾って、つないで、決まった瞬間、チームでの一体感が何とも言えずいいんですよ」

「審判の難しさは、自分の笛一つで試合の流れが変わること。だからこそ、正しく公平なジャッジができるように、先輩の審判員を見習いながら頑張っていきたい」。バレーボールを愛する白井さんの笛が、今後多くの大会で鳴り響きます。

新町民インタビュー ⑩

深澤健太（ふかざわけんた）さん

「驚いたサケ・ホタテ・バターの無料配布」

★今月は標津小学校に勤務している深澤健太さん（北1西3・23歳）にインタビュー。

――出身地、前任地は。

出身地は札幌市。新卒で昨年四月から標津小学校に勤務しています。

――まちの第一印象は。

広い草原や山並み、青々とした海、とてもきれいな景色で、「自然に恵まれた町」という印象でした。

――住んで見ての印象は。

春は「ホタテ祭り」、夏は「水・キラリ」、秋は「あきあじ祭り」、冬は「冬祭り」と、イベントが盛りだくさんで、にぎわいのある町ですね。

また、人や地域を皆さんとても大事にしていますね。

――驚いたことは。

サケやホタテ、バターの無料配布にはびっくり。サケは札幌の実家に送り、とても喜ばれ、ホタテとバターはホタテのバター焼きでおいしくいただきました。まさか無料で全世帯に配布されるとは、思いもよりませんでした。

さらに学校では、関係者のご好意で、給食でイクラが提供され、ご飯の上にイクラをのせて子供たちと一緒においしくいただきました。本物の味を知り、イクラが大好きになりました。

――町民の皆さんに一言。

この町に住んでようやく一年。まだまだ分からないことばかりですが、皆さん、よろしくお願いします。

町民・オン・ステージ

My Dream vol.35 わ・た・し・の・夢

渡邊 遥香（わたなべ はるか）さん
（川北小6年）

「大人になったらやりたいこと」

私は大人になったら、お花屋さんを開きたいです。理由は、お花は色とりどりだし、いいにおいだし、かざるとかわいいからです。

それに、お花屋さんを開いて、お金をためて、旅行にいきたいです。理由は、私は遠くに旅行に行ったことがないからです。一度でもいいから旅行に行くのが夢だったから、大人になったら行きたいなと思っています。旅行に行く時は家族をさそって家族旅行をしたいなと思っています。

私は大人になったら、自分の家の周りにお花を植えて、家の周りを色あざやかにして、きれいな色でかざって、家をあざやかにして、家を明るくしたいなと思っています。

なぜかというと、家が明るくなったら、くらしとか家の中がもっと明るくなると思うからです。

そして、お花は色あざやかだからいやされるし、気持ちよくなるから、私はお花のよさをみんなに知ってほしいので、大人になったら、お花屋さんを開きたいと思います。

若さでアタック vol.35

YOUNG MAN／WOMAN

「建設業経理事務士の試験に合格したい」

石立 麻衣（いしだて まい）さん
（北4西3・19歳）

「普段は皆現場に出ているため事務所は一人なので、事務的なことは何でもこなせるように頑張りたいですね」と意欲的に話す石立さん。

標津高校卒業後、昨年四月から鹿島道路㈱標津営業所に勤務。仕事は主に経理事務を担当。初めのころは、電話の応対で、工事関係の専門的な用語がわからず、後からもう一度電話で相手に確認し直したりすることも。

「今は、今月実施される建設業経理事務士三級の試験に合格するために頑張っているんです」

趣味は、お菓子作り。オレンジシフォンケーキやクッキーが得意。「会社に時々持っていくと、とてもおいしいと評判なんですよ」

達者なじいちゃんばあちゃん Ji-chan Ba-chan

「札幌にいる娘に会うのが楽しみ」

梅田 龍英（うめだ りゅうえい）さん
（南6西1・85歳）

「毎日自転車や歩いて体を動かしていることが健康の秘けつになっているのかなあ」と話す梅田さん。

最初は犬の運動のために始めたのが、今は自分の健康のために、毎日約四～五キロをこの時期は歩き、夏は自転車に乗っています。

毎朝四時に起きて、夜は七時に寝る生活。食事では、脂の多いものは一切食べず「お酒はコップ一杯の日本酒だけ。それが毎日の楽しみなんですよ」と笑います。

趣味は旅行。札幌にいる娘に「会いに行くのが楽しみ」と、旅行がてら年に二～三回は遊びに行くそうです。

「体が動けるうちは旅行に行くなど、好きなことを続けていきたいですね」

中学生弁論発表

北方領土への思い訴える

「北方領土の日」の２月７日、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会主催の根室管内住民大会が根室市で開かれ、本町から元島民をはじめ町民45人が参加しました。

今年は北方領土返還運動が始まって60年、また日口通好条約の締結から150年の節目を迎えたことから、北方領土問題の解決並びに平和条約の早期締結に向けて強力な運動の推進を図ることを大会で確認しました。

大会では、若い世代の返還運動の声を内外に表明することを目的に今年も中学生弁論発表が行われ、本町から梅木克麻くんと福澤紀子さんが出場し、共に佳良賞を受賞しました。２人の弁論要旨を紹介します。

「四島一括返還を望む」

梅木克麻（うめきかつま）くん

（薫別中２年）

私は昨年の八月、北方四島交流訪問事業で色丹島を訪問し、これをきっかけに、自分なりに学習を深めてみました。

現在までの返還運動の歴史を思い返すと、四島返還にこだわりつつも「色丹島、歯舞諸島の二島を日ロの平和条約の締結・経済協力の見返りとして返還する」というソ連側の主張に沿った形の二島返還論と、北方領土返還運動の原点ともいえる四島一括返還論の二つがあります。

二島返還論は、それで領土問題は決着させるというロシアの思惑が明らかであり、六十年間にわたる返還運動の歴史を振り返ると賛同できません。

では、四島一括返還はどうでしょう。元島民が高齢となり、亡くなっていく中で返還運動の叫びが日増しに衰えていくような気がします。それに反し、島に定住しているロシア人はますます島の生活への依存度合が深まり、返還運動が難しくなります。

しかし、皆さん、よく考えてみてください。今、ロシアは自由主義経済が導入され、外国資本がどんどん投資されるなど、自由化の波が押し寄せ、今まで閉ざされてきた国際社会との関係を打破し、新たな関係が加速度的に進展していくことを示しています。

だからこそ私はこれまでの返還運動を毅然とした態度で、粘り強く続けていくことが重要だと思えてなりません。それをロシア国民が理解してくれることを待ちましょう。

今、私にできることは、北方領土問題に関心を持ち続け、その輪を広げて行くことです。そして、北方四島が返還されるまで、運動の歴史を学び続け、島民の皆さんの意志を継承していきたいと心の底から決意しています。

「色丹島を訪問して」

福澤紀子（ふくざわのりこ）さん

（川北中３年）

北方領土は日本固有の領土だが、今はロシア人が住んでいる。自然や海産物が豊富で、北海道から島へ訪問したり、島に住んでいるロシア人の人々が日本に訪問して交流をしている」。私が北方領土について知っていることはこれぐらいしかなく、島の人々がどんな暮らしをしているかはまったく知りませんでした。

北方領土とはどんな所なのか、実際にこの目で見てみたいと思い、昨年八月にファミリー訪問団の一員として色丹島を訪問しました。

島を訪問して最初に驚いたのは、日本が援助して学校を建てていることでした。また、自然がたくさんあり、「とてもよい所だ」と思いました。島では固いパンや魚料理を多く食べることも知り、とてもよい体験になりました。しかし、魚を加工した後に出る廃棄物を処理するための設備が不足して、まだ問題が残っていることも知り、このことは日本が援助するなど早く対策を立て、豊かな環境を守らなければと思いました。

私はこれまでの北方領土の学習や体験の中で、島に住んでいる方(ロシア人)が言っていた、「島が日本のものかロシアのものか、それは政府が決めていい」という言葉がとても印象に残りました。私はどちらかの領土か決まる前に、まず島への行き来や移住が自由にできるようになればよいと思いました。

そうすれば、島での生活が良くなり、産業の面なども大きく変わってくると思ったからです。豊かな自然に恵まれ、たくさんのやさしい人々や子供たちが住んでいた島々。今、この北方領土は、私にとって「もう一度行きたいなつかしい島」となりました。

健康いちばん！

加瀬久子 保健師
Hisako Kase

《今月のテーマ》第二回健康づくり推進地域会議の報告

月に『「めだかの学校」で健康づくり』というテーマで、「生き活きと健康にくらせるまちづくり」について、住民参加により考えることを目的として開催した第一回健康づくり推進地域会議の報告をしました。

今月はその続報ということで、一月に開催しました第二回健康づくり推進地域会議の報告をいたします。

第二回目は、町内会役員、町内会連合会役員、健康づくり推進員、体育指導員、老人クラブ会長などの他に、健康づくりに関心がある方にも参加していただきました。

一回目と同様に、昼の部を川北ふれあいセンターで、夜の部を保健福祉センター(写真)で実施し、参加者は合計三十八人でした。

■元気な人が多いまちに

今回の内容は、まず一回目の会議の復習をした後に、グループで話合いをしました。各グループでは「元気な人が多いまち」を実現するための具体策を考えました。

初めはそれぞれが自分で考えてみました。その時はなかなか難しかったようですが、グループの皆さんと話をしだすと、さすがの住民パワーで様々な話がされました。

■早速取り組めそうなこと

グループの中で、いろいろ出された意見の中で、早速取り組めそうなこととしてその一部を紹介します。

▽歩くこと
▽老人クラブのなかで、百マス計算やパズルなどを行う。
▽カラオケができる会館を解放する
▽体育館のトレーニングルームの利用
▽防災無線でラジオ体操の音楽を流す。　など

詳細については、次のとおりです。皆さん取り組んでみてはいかがでしょうか。

元気な人が多いまちを実現するための具体策　(抜粋)

個人でできること

- ▷1日3食規則的に食事をする
- ▷野菜をできるだけ多くとる
- ▷ウォーキングをする
- ▷健康診断を定期的に受ける
- ▷思い立った時から実行する
- ▷ストレスをためない
- ▷趣味を持つ
- ▷早寝早起きをする

家族・友人でできること

- ▷友人と集まって健康メニューを考えたり、学ぶ
- ▷仲間を集めてラジオ体操、ウォーキングをする
- ▷健康に関する対話・会話をする
- ▷笑顔であいさつをかわす
- ▷仲間でカラオケを唄う

町内会・各組織でできること

- ▷病気の予防や栄養の勉強会をする
- ▷ウォーキングやスポーツの仲間をつくる
- ▷健診を受けるように声かけをする
- ▷健康についての研修会をする
- ▷笑顔であいさつを交わすようにする
- ▷交流会やイベントを行う

老人クラブできること

- ▷高齢者のための料理教室をする
- ▷高齢者だけのスポーツ大会をする
- ▷脳の活性化のために楽しく学ぶ
- ▷閉じこもりがちな人を引っ張りだす

職場でできること

- ▷病気の予防や栄養の勉強会をする
- ▷職場で毎日ラジオ体操をする
- ▷１年に１回健診をうける
- ▷笑顔であいさつをかわす

町全体でできること

- ▷健康増進のための栄養教室を行う
- ▷ラジオ体操を定着させる
- ▷健診を受けやすくする
- ▷ボランティア活動を推進する

防災・防犯

高齢者を火災から守るポイント

今後さらに進んでいく高齢化社会の中で、高齢者が安心して暮らせる環境づくりが必要です。

火災から身を守るために家族で防火安全対策について話し合いましょう。

■火災の早期発見のため、住宅用火災報知器の設置を。
■火の元のまわりの整理整頓を。
■普段から2つ以上の逃げ道を考えておきましょう。
■安全に避難するために、家の中の段差をなくし、廊下や階段には物を置かないようにしましょう。
■灰皿には水を入れておきましょう。
■寝たばこはやめましょう。
■コンロから離れる時は、必ず火を消しましょう。
■火を使う場合は、衣類への着火に気をつけましょう。
■万が一の場合は、消火より避難を最優先しましょう。

－標津消防署－

転入・転居・転出時の戸別受信機の取扱い

防災行政無線は、緊急時の気象予報警報・避難勧告・災害状況などのお知らせ、また平常時には、町からの情報をお知らせするため、各家庭に設置（貸付け）しています。

転入または転居・転出の際は、必ず住民課までご連絡ください。

★連絡・お問い合わせは、住民課（担当：田口、栗原）まで。

オウム真理教被疑者の情報をお寄せください

平成7年3月20日に発生した「地下鉄サリン事件」から、今年で10年となります。

現在逃走中のオウム真理教警察庁指定特別手配被疑者である平田信、高橋克也、菊池直子に関する皆さんの情報をお待ちしています。

－中標津警察署－

5月1日 午前2時から…
固定電話の局番が変わります

	市外局番	市内局番	加入者番号
■現　在	01538 -	△ -	□□□□
■変更後	0153 -	8△ -	□□□□

市外局番の末尾の「8」がなくなって、「0153」となり、
市内局番は、現在お使いの市内局番の頭に「8」がついて、2ケタになります。

※本町から「根室市、厚岸町、中標津町、別海町(尾岱沼除く)」に電話をかけるときは、市外局番が同じですが、これまでどおり市外局番のダイヤルが必要です。

根室標津01538地域と同時に市外局番が変更される地域は以下のとおりです。

地　域	変　更　前	変　更　後
標津郡中標津町、野付郡別海町（尾岱沼、尾岱沼港町、尾岱沼岬町、尾岱沼湖見町および床丹を除く）	01537－△－□□□□	0153－7△－□□□□

●現在お使いの電話機、ファックスなどはそのままご利用いただけます。
●料金（回線使用料、ダイヤル通話料）は変わりません。

ご注意ください！

「現在ご利用中の電話機は使えなくなる」などと事実に反する説明をして、電話機などの購入を迫る悪質なセールスに十分ご注意ください。

3月の健康相談日程

●乳幼児相談
25日(金)
〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕
※午前の部～13ヵ月児　午後の部～4・7・10ヵ月児対象

●2歳児相談
25日(金)
〔9時～10時／ひまわり〕
※その他の健診・相談は個人通知します。

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」（☎2－1515）まで。

町長の動静
（1月21日～2月20日）

【1月23日】
鈴木宗男新年交礼会

【1月25日】
平成17年度道路関係予算説明会（東京都）

【1月27日】
根室管内町長、議長と商工会正副会長が新年を迎えて語り合う会（中標津町）

【1月28日】
中司てつお新年交礼会（中標津町）

【2月3日】
道市町村職員共済組合短期・福利厚生事業運営委員会（札幌市）

【2月4日】
道市町村職員共済組合役員打ち合わせ会（札幌市）

【2月8日】
北海道自衛隊駐屯地等所在市町村連絡協議会設立総会（札幌市）

【2月9日】
道警本部長、中標津警察署長からの讃辞授与

【2月16日～18日】
北海道町村会本州町村行政施策調査（鹿児島県）

〈以上主なもの〉

BOOK ROOM

今月のおすすめ 新刊

「「所得半減」経済学ー『昭和30年代に学ぶしあわせ術』ー」
森永卓郎著　講談社

昭和30年代が懐かしい世代にはおすすめの一冊。あのころはまだ車もない、テレビも行き渡っていない。携帯なんて当然ない。でも、"貧しくても幸福"だった気がするのでは…。著者は、今の生活の質を変えることで、その豊かさを取り戻すことを提案している。

「子どもの才能は国語で伸びる—五感を使って読書と作文—」
工藤順一著　エクスナレッジ

子どもの読解力不足が指摘されている。本当はどうなのでしょう。この本は、小学生を中心に民間の「国語専科教室」を主宰している著者の実践記録。理解することの基礎となるのは国語、さて、私たちも何かを始めなければいけないのかも知れません。

今月の特集：入園・入学グッズ特集

3月は卒業シーズンですが、入園・入学の準備時期でもあります。今月は、小物からお弁当の作り方まで幅広く特集してみました。心のこもった手作りグッズでお子さまを送り出してはいかがでしょうか。

《新着図書紹介》

「良寛に生きて死す」
中野孝次著　考古堂

「北の動物記」
倉本聰著　産経新聞社

「『血脈』と私」佐
藤愛子著　文藝春秋

「女医の花道」
おおたわ史絵著　主婦の友社

「波瀾万丈　中世・戦国を生きた女たち」
石丸晶子著　清流出版

「教育の世紀—学び、教える思想—」
苅谷剛彦著　弘文堂

「血と油—アメリカの石油獲得戦争—」
マイケル・T・クレア著　NHK出版

★図書館　☎ 2-2074

3月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域（祭日は休みです）〈有料〉	可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ	資源ごみ（空缶・びん・ペットボトル・トレー・新聞・雑誌）	資源ごみ（容器包装(紙) 容器包装(プラ) 紙パック・段ボール）
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	5日(土) 19日(土)	2日(水) 16日(水) 30日(水)	9日(水) 24日(木)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	3日(木) 17日(木) 31日(木)	14日(月) 28日(月)	7日(月) 22日(火)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	火・金	4日(金) 18日(金)	1日(火) 15日(火) 29日(火)	8日(火) 23日(水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

スポーツ

☆3月のスポーツ☆

■1日～17日の毎週火・木曜日
スマイルハッピー教室
〔10時～総合体育館〕

■6日(日)
第22回室内ソフトテニス大会
〔9時～総合体育館〕

■7日(月)
第17回室内ゲートボール大会
〔9時～総合体育館〕

■12日(土)
完全学校週5日制開放
〔10時～総合体育館〕

■13日(日)
第4回雪中300才ソフトボール大会
〔9時30分～町営球場〕

スポーツ安全保険に加入を

■加入対象者
スポーツ、文化、社会奉仕活動などを行う5人以上のグループ

■対象となる事故
グループ活動中及び往復途上の事故（一部個人活動中の事故も補償）

■掛金（年額）
・成人の文化活動、中学生以下の活動…500円
・中学生以下の活動のほか個人練習、個人活動…1,050円
・老人クラブなどの活動…800円
・成人のスポーツ活動…1,500円
・成人のスポーツ活動（山岳など危険なもの）…9,000円

■適用期間
平成17年4月1日～平成18年3月31日（1年間）

※4月1日以降も随時受付けしますが、加入時期が遅くなると適用期間も短くなります。

★申込み・お問い合わせは、総合体育館（☎2-3112）まで。

資金

ご利用ください　教育委員会の援助・貸付事業

町教育委員会では、高校、大学、短大、各種専門学校などに進学、在学中で学資の支弁が困難な方及び子供の学校生活のための必要な資金について、次のとおり援助・貸付をしています。

■奨学資金

▷申込方法

申請書に必要事項を記入のうえ、奨学生推薦書、在学証明書、学業成績証明書、健康診断書を添えてお申込みください。

▷申込期間　3月1日～4月8日

■就学援助

▷対象者

・生活保護を受けている方
・生活保護の停止、廃止などで経済的に困っている方
・長い病気や突発的な事故、災害などで経済的に困っている方

▷受けられる援助費

学用品、体育実技用品、修学旅行費、給食費

★お問い合わせは、町教育委員会（☎2 - 3110 担当：本間）まで。

戸籍

「青年後見登記事項証明書」を交付しています

釧路地方法務局では、1月31日から、青年後見登記事項証明書（「登記事項証明書」及び「登記されていないことの証明書」）の交付ができるようになりました。

★お問い合わせは、同法務局（☎0154-31-5015）または同法務局根室支局（☎0153-23-4874）まで。

郵便局

標津のホタテを全国にお届けします

現在郵便局では「ゆうパック会」として、標津産ホタテの地方発送を行っています。

殻付き4㌔（15～20枚程度）で、価格は、道内への発送が2,400円、道外へは2,700円です。

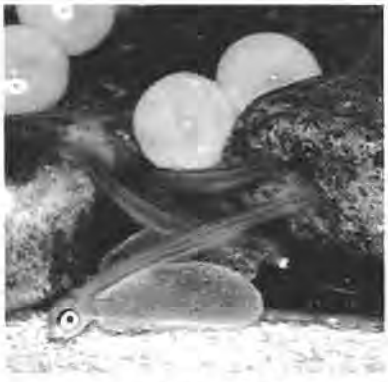
この機会に、ぜひ全国の知人や友人などに贈られてみてははいかがでしょうか。

受付けは3月11日までですので、お早めにお申込みください。

★申込み・お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

サーモン科学館　3月の見どころ

シロザケの稚魚が元気に泳いでいます



今年もサーモン科学館では、たくさんの稚魚が誕生し、魚道水槽では、1万5,000匹のシロザケの稚魚が元気に泳いでいます。

また、知床の沿岸を訪れる氷の妖精「クリオネ」や大型のイトウなどもご覧になれます。

町民皆さんのご来館をお待ちしています。

★お問い合わせは、同科学館（☎2-1141）まで。

戸籍の窓口から

（1月11日～2月10日届出分）

■お誕生おめでとう

		〈保護者〉
戸村	姫莉ちゃん（桜木町）	正樹・佳美
鈴木	怜央くん（曙町）	孝・美樹
花田	美咲ちゃん（双葉町）	裕次・麻里子
小田部	星牙くん（若草町）	恭範・優子
吉田	聖奈ちゃん（西古多糠）	明弘・純奈

■おくやみ申し上げます

相馬松造さん（弥栄町）88歳
東口ユキさん（新川上町）79歳
馬場サダさん（弥栄町）94歳
野崎セイさん（川上町）81歳
森井豊四郎さん（寿町）86歳

寄付・寄贈ありがとうございました

●体育文化振興基金として町に――

・湯浅清吉さん

●町社会福祉協議会に――

・東口　吉夫さん　・聖友標津支所
・森井ツネ子さん

●はまなす苑に――

・相馬　勇さん　・龍雲寺梅花講
・森井ツネ子さん　・カワセミの会
・高原高雄さん

●標津病院に――

・標津漁協チェリー会　・川畑　カツさん
・竹下　カヨさん　・木村　美幸さん
・金田　秀さん　・長谷川雅章さん

●図書館に――

・成田　幸子さん

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

国民年金は、あなたが主人公です

口座振替による前納がお得です

国民年金保険料の納付は、まとめて納入すると割引きされる「前納制度」がありますが、口座振替により前納した場合はさらにお得です。

■納付方法による割引額の比較

	口座振替の場合の割引額	納付書の場合の割引額
月毎納付(翌月)	割引なし	割引なし
当月納付	40円(年間 480円)	割引なし
6カ月前納	930円(年間1,860円)	660円(年間1,320円)
12カ月前納	3,420円	2,890円

※現在納付書で納入されており、口座振替を希望される方及び口座振替の方で当月引き落としを希望される方は、3月上旬までに釧路社会保険事務所（☎0154-22-0111）までお問い合わせください。

4月から「特別障害給付金」を支給

■対象者

①国民年金に任意加入だった時期（平成3年3月以前）に未加入で、障害を負った学生

②国民年金に任意加入だった時期（昭和61年3月以前）に未加入のサラリーマンの配偶者で、未加入期間に初診がある方。

■支給額

・障害1級相当　月額50,000円　・障害2級相当　月額40,000円

社会保険事務所相談開設日

▷日時　3月15日(火)～16日(水)
1日目/午後1時～午後5時・2日目/午前9時～午前11時30分

▷場所　中標津経済センター

※ご本人や配偶者の年金記号番号、加入期間などを調べてお越しください。

★相談・問い合わせは、お気軽に福祉課（国民年金担当：杉本）まで。

保健

受診しましょう「春の子宮がん検診」

■日程・場所

4月19日(火)

・午前9時～正午…保健福祉センター「ひまわり」

・午後1時～午後3時…川北生涯学習センター

■対 象 者　20歳以上の女性

■検診内容・料金

▷子宮頸部検診…1,900円
（70歳以上の方は600円）

▷経膣エコー…500円（希望者のみ）

▷子宮体部検診…1,100円

※子宮体部検診は、問診結果により受診が必要な場合に実施します。

※生活保護世帯の方は、検診内容にかかわらずすべて無料です。

■申込期限　4月7日(木)

★申込み・お問い合わせは、ひまわり（☎2-1515 担当：谷内）まで。

募集

「にこにこ教室」参加者募集

育児の大切さと楽しさ、子供への関わり方について遊びを通して学び、幼児を持つ家庭への支援を行う地域子育て支援事業の一つとして「にこにこ教室」の参加親子を募集しています。

■日　時

4月13日から2カ月間
（毎週水曜日・計8回）

■対　象

1歳～5歳までの子供とその親

■定　員　10組

■申込み　3月28日(月)まで

★申込みは、地域子育て支援センター（双葉保育園内・☎2-2404 担当：宇野）まで。

税

3月は道税の納税推進強調月間です

道では、3月を「納税強調推進月間」として道税の納税推進・滞納の解消に努めます。

～夜間納税窓口を開設します～

■日時　3月24日(木)　午後9時まで

■場所　根室支庁税務課

★お問い合わせは、同支庁税務課（☎0153-24-5466）まで。

環境衛生

し尿の汲み取りの申込みは忘れずに

4月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申込みください。

■汲み取り実施地域

川北全域、北標津、西北標津

■申込期限　3月25日(金)

★申込み・お問い合わせは、住民課（担当：小野瀬、吉田）まで。

まちの声…

223

「食料自給率」をみつめて

畑　建一さん　Kenichi Hata
川北寿町〈川北小学校勤務〉

今年の干支は酉年ですが、今更ながら十二年前の平成のコメ騒動が思い起こされてなりません。

コメ余りの現象に慣らされた私たちにとって、「飽食」できることを当然のことのように考えていた私たちにとって手痛い教訓ではなかったのかと思います。

さて、日本の食料自給率は四〇%で、俗に先進国クラブといわれる経済協力開発機構の加盟三十カ国中、二十九位と最下位に近い位置にあるそうです。日本よりはるかに冷涼なスウェーデンでさえ、九〇%に近い自給率を誇るそうですから本当に情けなくなってしまいます。その分、日本の食料は輸入農産物に頼っている訳ですが、農水省の試算によるとこれを生産するためには約千二百万㌶の耕地面積が必要だそうです。

今日、わが国の耕地面積全体が五百万㌶を切ったといわれていますから、国内の二倍以上の面積を外国の耕地に依存していることになります。幸い、私たちの北海道は、都道府県別の食料自給率が一八一%と全国一高い数値を誇っていますが、逆に東京の自給率は全国最低、わずか一%に過ぎません。

私はわが国の農業が、WTO体制の中に引きずられ、市場原理の信奉者に委ねる道を歩むことは正しい選択肢ではないと思います。よく、東京のオピニオンリーダーは「国際競争」の名のもとに農業が過保護だと批判しますが、自分たちの足元である東京の自給率の低さに驚愕することはないのでしょうか。

無責任な東京人の発言に翻弄されることなく、豊穣の大地である北海道を私たちはもっと誇りにして良いと思います。

◇　◆　◇

▽次の「まちの声」は、奥はるみさん(川北共栄旭町)です。

発行日／毎月1日　編集・発行／標津町役場 企画振興課（広報統計担当）
〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目

☆標津町民憲章☆

（昭和46年11月3日制定）

◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
◇心を豊かにし文化を高めましょう。
◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽「わが村は美しく～北海道」運動コンクールで本町の二団体が金賞、銀賞を受賞。地域が一体となった取り組みを評価。このことは、住民の皆さんの行動力と結束力、努力によるものです。この他にも住民の皆さんによる自主的な活動を目にします。▽これらの活動を広く紹介し、町を挙げた一層の取り組みを目的に、フォーラムが三月二十三日に「あすぱる」で開催されます。多くの皆さんが参加して、自分たちの町を皆さん一人ひとりの手で、さらに元気にしようではありませんか。（H）

▽多くの町民が会場を訪れ、冬の一日を大いに楽しんだ「キラリ標津2005冬まつり」。自分も一連の写真を撮るために会場に。さすがに夕方以降はグッと冷え込み指がかじかんで、シャッターを押すのになかなか一苦労しました。▽このような寒い中、準備、運営など一日中携わった各団体などの皆さん、大変ご苦労様でした。（A）

人のうごき

・人　口	6,235人	（－ 8）
・男	3,041人	（－ 2）
・女	3,194人	（－ 6）
・世帯数	2,383世帯	（＋ 1）

◇平成17年2月1日現在
（　）は前月比

町内の交通事故

・人身事故	2件	（ 2）
・負傷者	3人	（ 3）
・死亡者	0人	（ 0）
・物損事故	20件	（20）

◇平成17年1月1日～1月31日まで
（　）は累計

4月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

■日　時　4月5日(火)13時30分～
■場　所　川北生涯学習センター
★お問い合わせは、住民課まで。

・標津町ホームページ　http://www.shibetsutown.jp/　　・お問い合わせ　shibetsu-people@shibetsutown.jp